

名張市の躍進に向けて（提言）（案）

名張市市政一新市民会議は、平成 14 年の設置以来、名張市の行財政改革の一翼を担い、行政改革大綱の検討、審議や行政改革の推進に関する様々な討議を行ってきました。

名張市においては、本市民会議の意見を踏まえ策定した平成 15 年からの第一次市政一新プログラムにより、コスト削減のための改革が断行され、平成 19 年度からの第 2 次市政一新プログラムでは、コストを抑えつつ効果を高めるための改革の仕組みづくりがなされました。

平成 21 年 8 月からの第 4 期の市民会議においては、市政一新プログラム - 完結編 - の策定と推進のために会議を重ね、平成 22 年度からは本プログラムに基づく取り組みが進められています。

これからの名張市の行財政改革は、地域力を活かした「新しい公」の推進や施策・事業の選択と集中を進め、また、危機を克服するための量的な改革から、さらに地域に活気が満ちあふれ、名張市が躍進するための改革へと進化させる段階にあります。

このような質的な変革を果たし、市民にとって名張市が真に躍進するためには、外から見た名張の価値を底上げすることにより、「魅力ある名張」を創造することが必要です。

したがって、第 4 期の市民会議の総括にあたり、「魅力ある名張」の創造のため、下記のことを尊重し市政の推進に取り組みられるよう提言します。

記

- 1 安全・安心・快適を基本理念とするとともに、厳しい財政状況にあっても事業の取捨選択などの工夫をされ、名張の価値の底上げに繋がる事業の推進に配慮すること。
- 2 各事業の実施においては、名張市の経済の活性化に繋がる手法を優先すること。
- 3 引き続き、市職員の意識改革の徹底と、市民と行政の協働によるまちづくりの基盤整備の推進に努めること。

また、計 9 回にわたる会議において各委員から出された意見を別紙にまとめましたので、今後の取組みの参考とされたく資料として提出します。

平成 23 年 7 月 日

名張市長 亀井利克 様

名張市市政一新市民会議
会長 中川幾郎